

小樽市「障がい者週間」啓発事業ほほえみフェスタ2014 第22回ボランティア・市民活動パネル展

2014.8.29(金)、30(土)



小樽都通り商店街で2日間にわたって開催された「障がい者週間」小樽ほほえみフェスタ2014に、第22回ボランティア・市民活動パネル展で参加しました。雨の多い夏でしたが、この日は天候に恵まれ絶好のパネル展日和！ボランティア・市民活動センターに登録いただいているボランティアの方に協力していただいて準備を開始しましたが、パネルボードを支える柱の故障で、急遽パネルボードの数が10枚から7枚に減ってしまうというハプニング。なんとかボランティアの方々のお力を借りて、無事にボードの設営、パネル写真の展示、飾り付けを終えることができました。また展示終了後の後片付けもてきぱきと動いていただき、あっという間に1日が終了。2日目は1日目の経験を生かし、スムーズに作業がはかどりました。

市内のボランティア団体の活動写真、「福祉教育懇談会」や「総合的な学習の時間」の取り組みでの子どもたちの様子、ボランティア会議主催の防災に関する事業の様子など、見応えのあるパネル写真が所狭しと並び、都通りを行き交う市民の皆さんにPRできたと思います。



小樽市総合防災訓練に参加しました！

2014.9.1(月)



色内埠頭公園で開催された小樽市総合防災訓練に、南小樽地区連合町会の皆さんに協力していただき、小樽ボランティア会議として参加。レスキューキッチンを使用した豚汁210食の炊き出し訓練を行いました。

訓練想定は、北海道北西沖を震源とするマグニチュード7.8の地震が発生し、小樽は震度7、小樽市沿岸地域に津波警報が出され、陸上においては市内各地で木造家屋が倒壊、海上では津波の影響で船舶からの重油流出などにより火災発生、道路の損壊、崖崩れによる土砂の流出などにより市内の交通網が寸断、ライフラインにも重大な被害が発生する中、小樽市災害対策本部の要請を受け住民と協力し炊き出しをするというものでした。

レスキューキッチンは初めての方がほとんど。「本当に初めてですか？」と思わず言ってしまうそうなくらいに手際良く、食材の下ごしらえ、発電機・レスキューキッチンの準備、調理用具の洗浄片付けなど、皆さん率先して動いていただき、タイムスケジュールどおりに作ることができました。

出来上がった豚汁は、防災訓練に参加していた各機関の方々にも試食していただき、とても喜ばれました。

◎参加機関：29機関 359名 車両：38台 船舶：7隻



各種出前講座

小樽市内の学校、企業、地域での研修会（ボランティア活動について、車椅子体験、視覚障がいや高齢者擬似体験、DIG研修会、クロスロード研修会、レスキューキッチンを使用した炊き出し訓練など）への協力、また、各体験セットの貸出しを行っております。

お気軽にご相談ください。



災害支援情報

各地で大雨が相次ぎ、甚大な被害が報告されています。災害ボランティアセンターが立ち上がっている地域もありますが、現地へのボランティアへ行くとお考えの方は、まずホームページ等で現地の最新情報を確認し、災害ボランティア活動へ向けての準備を行ってください。

全社協 被災地支援・災害ボランティア情報
<http://www.saigaivc.com/>

また、被災地では怪我や事故のおそれもあるため、事前にボランティア活動保険（天災タイプ）の加入をお願いしております。手続きは、ボランティア・市民活動センターで可能です。



10月1日から赤い羽根共同募金が
始まりました。
善意のご協力をお願いいたします！